6月 定例会リポート

○令和6年第2回定例会（令和6年5月31日～6月21日） 会期22日間

○報 告

◆令和5年度一般会計予算の一部を次年度に繰り越しました。
⇒令和6年度への明許繰越額は、32事業で855,453,000円です。《報告第3号》
⇒令和6年度への事故繰越額は、道路改良事業費の5,456,367円です。《報告第4号》

◆令和5年度の「太宰府古都・みらい基金」の運用状況報告です。
⇒令和5年度に4,964,075円を積立て、基金残高は14,314,706円になりました。《報告第4号》

◆専決処分の報告です。
道路側溝グレーチング蓋浮き上がりによる車両事故の損害賠償の額の決定
⇒損害賠償額は820,831円で、市が加入する道路賠償責任保険から全額を支払います。《報告第8号》

市公用車による一般車両損傷事故の損害賠償額の決定
⇒損害賠償額は137,729円で、市が加入する自動車保険から全額を支払います。《報告第9号》

○専決処分

◆太宰府市税条例の一部改正 承認
⇒地方税法等の改正に伴う、令和6年度分の個人住民税の定額減税に係る規定の整備・改正等です。《議案第37号》

◆太宰府市都市計画税条例の一部改正 承認
⇒地方税法等の改正に伴う、固定資産税関係の負担調整措置の延長等に連動する関係規定の改正です。《議案第38号》

◆太宰府市国民健康保険税条例の一部改正 承認
⇒地方税法等の改正に伴う、国民健康保険税の課税限度額及び軽減判定所得の改正です。《議案第39号》

○市道路線の認定

◆御垣野6号線（朱雀4丁目2623番6付近）を市道認定しました。 可決
《議案第40号》

○条 例

◆太宰府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について 原案可決
⇒番号利用法の改正に伴い、条例の一部を改正するものです。《議案第41号》

◆太宰府市税条例の一部改正について 原案可決
⇒地方税法等の改正による、新たな公益信託制度創設に伴う、個人住民税の寄附金税額控除等の改正です。《議案第42号》

◆太宰府市子育て支援センター条例の一部改正について 原案可決
⇒児童福祉法等の改正に伴い、こども家庭センターの事業及び業務の規定を整理するものです。《議案第43号》

○令和6年度一般会計補正予算（第2号）

◆歳入・歳出それぞれ7億6,545万5千円を追加しました。

費 目	補正予算額	主 な 事 業 と 予 算 額
社会福祉費	7億6,545万5千円	物価高騰に伴う低所得世帯への生活支援を目的とする、令和6年度に新たに住民税非課税世帯等となった世帯への給付金と、子ども加算給付金、および定額減税しきれないと見込まれる納税義務者への補足給付金です。

○令和6年度一般会計補正予算（第3号）

◆歳入・歳出それぞれ2億9,340万3千円を追加しました。

費 目	補正予算額	主 な 事 業 と 予 算 額
保健衛生費	1億9,381万3千円	新型コロナワクチンの定期接種への移行に伴う委託料等やワクチンへの副反応による健康被害救済給付金です。
林業費	705万4千円	林業用施設整備費 358万1千円 四王寺林道の倒木危険樹木を伐採する委託料です。
商工費	3,124万円	オーバーツーリズム対策事業の委託料です。
教育総務費	776万4千円	教師用パソコンの追加購入費です。 また、歳入予算8,672万3千円の国費を、一般財源に組替えました。
社会教育費	1,500万円	「令和文化会議」の令和6年度版として、NHK大河ドラマ「光る君へ」に関連するイベント委託料です。

以上により、歳入・歳出それぞれの総額は、310億6,278万3千円になりました。

令和4年度から試行していました予算特別委員会での一般会計補正予算審査について、今年から次のような構成委員にて実施しています。
当初予算も審査される3月には17人の議員全員で審査します。
6・9・12月の補正予算は議員の半数8～9人で審査します。今回は8人構成です。

令和6年6月 補正予算のここに注目！

委員会審査における発言の一部を紹介します。

保育所への給食費の補助
委 員：私立の認可保育所と公設の保育所には給食費の補助を行うとのことだが、認可外保育所にはどのような対応となるのか。
執行部：市立・私立の保育所には市を通して児童一人当たり1か月の上限額1,100円で算出した補助が出ます。認可外保育所等には県から直接補助が行われます。

オーバーツーリズム対策
委 員：デジタルサイネージの設置目的は。
執行部：太宰府駅近傍への設置を想定しており、訪問者の天満宮周辺エリアからの回遊を図るものです。
委 員：地域住民や観光関係者、参道事業者等と連携した協議体はこれからも経常的に機能していくのか。
執行部：オーバーツーリズム対策は今年度のみで完結する問題ではなく、来年度以降も議論していくものと考えています。
委 員：補助金の申請提案にあたって参考にした先進地や事例は。
執行部：採択事例として京都市や鎌倉市を参考にしています。また九州運輸局にも相談等をしています。

大河ドラマ「光る君へ」トークライブ・企画展示
委 員：事業費の内訳は。
執行部：具体的には決定していませんが、トークライブに640万円、企画展示に820万円、その他諸経費を見込んで計上しています。